アルフェアー専用電気錠

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

■梱包明細書

名　　称	員数	
	片錠	両錠
片錠取付セット	1	—
両錠取付セット	—	1
キー	3	3
受け(ストライク)セット	1	1
戸当りスペーサー	—	1
戸当りスペーサー取付ビス　M4×10サラ	—	1
ヒンジ（上）	1	2
ヒンジ（下）	1	2
ヒンジ裏板	2	4
ヒンジキャップ	2	4
ヒンジカバー	2	4
落し棒受け	1	3
1コ用スイッチボックス（通電金具用）	1	1
1コ用スイッチボックス（防滴プレート用）	1	1
防滴プレート	1	1

名　　称	員数	
	片錠	両錠
施解錠操作押ボタン	1	1
ヒンジ取付ビス M4×10トラス	8	16
戸当り取付ビス φ4×10トラス	5	
スリーブ	4	4
取扱説明書※	1	1
取付説明書	1	1

※電気錠掛扉本体の梱包に入っています。

1.施工寸法

2. 錠本体の組付と勝手の変更

2-1 錠本体の組付け

錠本体をM4×10 ⊕ サラネジで組付けて下さい。

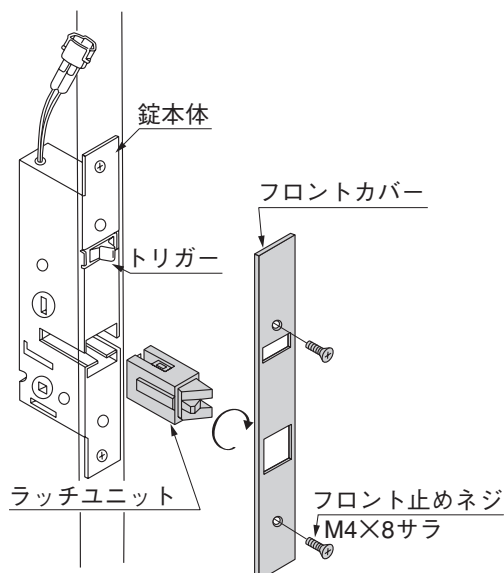
2-2 勝手変更方法

本セットは、右勝手・内開き用になっています。扉の開き勝手を変える場合には、下記の勝手変更表に従って錠本体の勝手およびストライクの勝手を変更して組付けて下さい。

下の表に従って、勝手を変更してください。

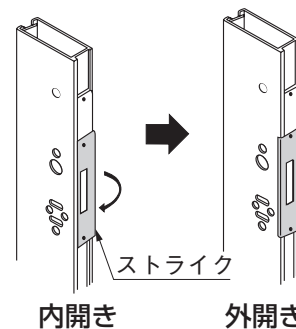
扉の勝手（図は扉を上から見た図です。）	勝手変更
右勝手内開き 道路側 掛側　家側　受側	下記(B)に従って、ストライク
左勝手内開き 道路側 受側　家側　掛側	下記(A)・(B)・(C)に従って、勝手を変更して下さい。
右勝手外開き 道路側 掛側　家側　受側	下記(A)・(B)に従って、勝手を変更して下さい。
左勝手外開き 道路側 受側　家側　掛側	下記(B)・(C)に従って、勝手を変更して下さい。

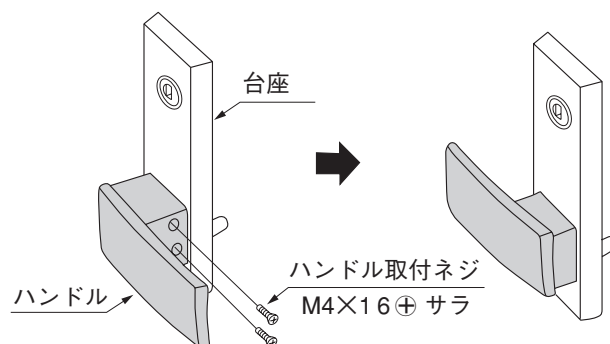
※外開きで180゜開けたい場合は柱の裏面を道路に施工して下さい。

(A) 錠本体の組付け・変更

フロント止めネジ（M4×8⊕サラ）をゆるめ、フロントカバーをはずして下さい。

<注意>

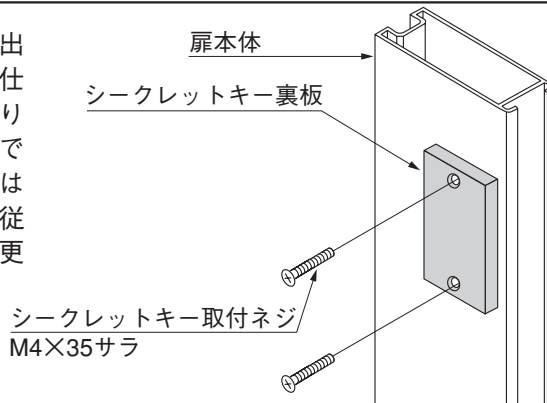
●ラッチユニットを落とさない様に注意して下さい。
　ラッチを抜き取り、ラッチを反転させて差し込んで下さい。
　再びフロントカバーを取付けて下さい。

(B) ストライクの組付け・変更

両開きの場合はストライクを180゜回転させて、開きを合わせて下さい。

(C) ハンドル部の変更

ハンドル取付ネジ(M4×16⊕サラ)をはずし、ハンドル部を180゜回転させて再び台座に取り付けて下さい。

A344_200209A

3. 電気錠掛扉の勝手の変更

電気錠掛扉は出荷時、右勝手仕様になっております。左勝手で使用する場合は右記の手順に従って、勝手変更して下さい。

シークレットキー（M4×35⊕サラ）をはずし、シークレットキー裏蓋を取りはずします。

シークレットキー扉本体の加工穴の中を通して、反対側にもってきます。

再びシークレットキー裏蓋を取付けます。

<注意>

●加工穴の切断面で手や指をけがしない様注意して下さい。

4. 錠の勝手の変更

3-1 両開き

エマージェンシーへの変更

サムターン中央のビスをゆるめると、ツマミを取りはずすことができます。

<注意>

●内開きまたは外開きによる、掛側・受側の取付け方はかわりません。

戸当りスペーサーの取付け

戸当りスペーサー

ストライク

戸当りスペーサーの下部を、ストライクではさんでください。

道路側

家側

サムターン

M4×30⊕サラ

掛側

M4×10⊕サラ

戸当りスペーサー

両扉用ストライク

M4×10⊕サラ

M4×30⊕サラ

受側

道路側

家側

A344_200209A

5. ヒンジの取付け

ポイント

●ヒンジにはヒンジ(上)とヒンジ(下)の区別があります。
抜け止めネジがついているヒンジがヒンジ(下)です。

補足

●あらかじめヒンジにヒンジ裏板を仮組みした状態で吊り元框にスライドさせると簡単です。

●ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。

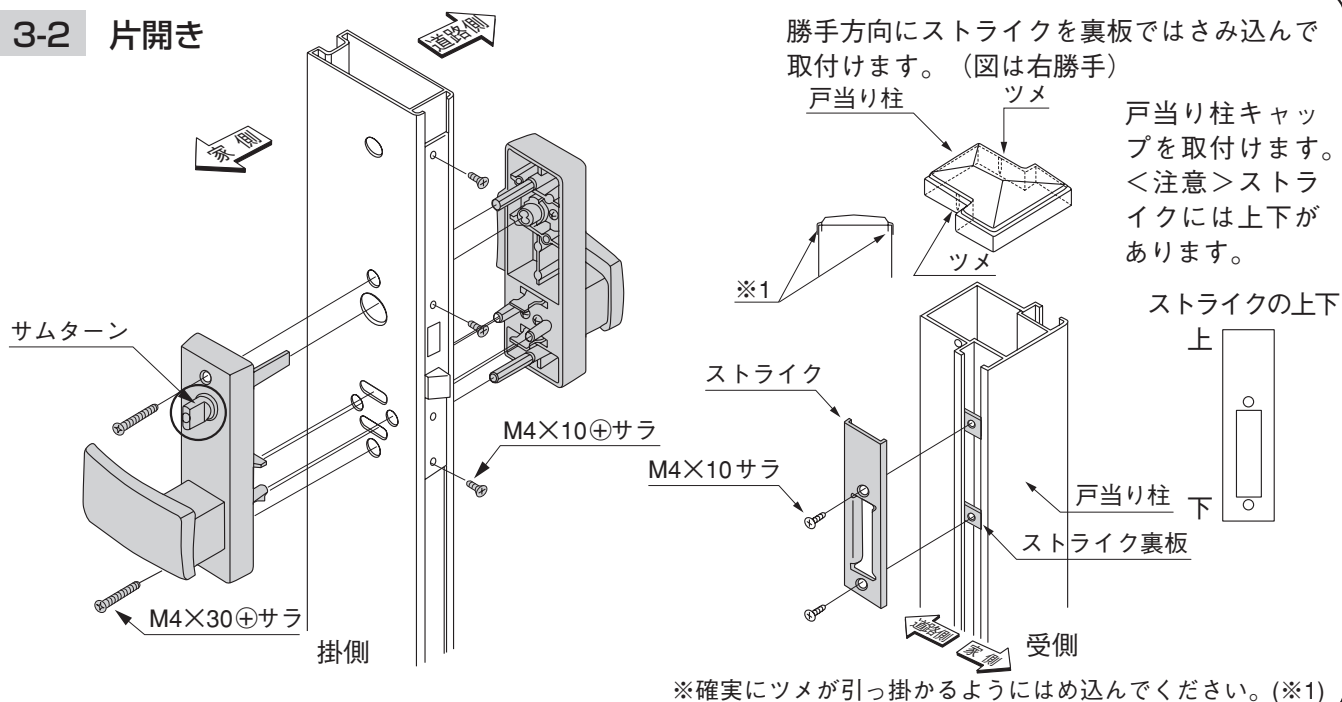
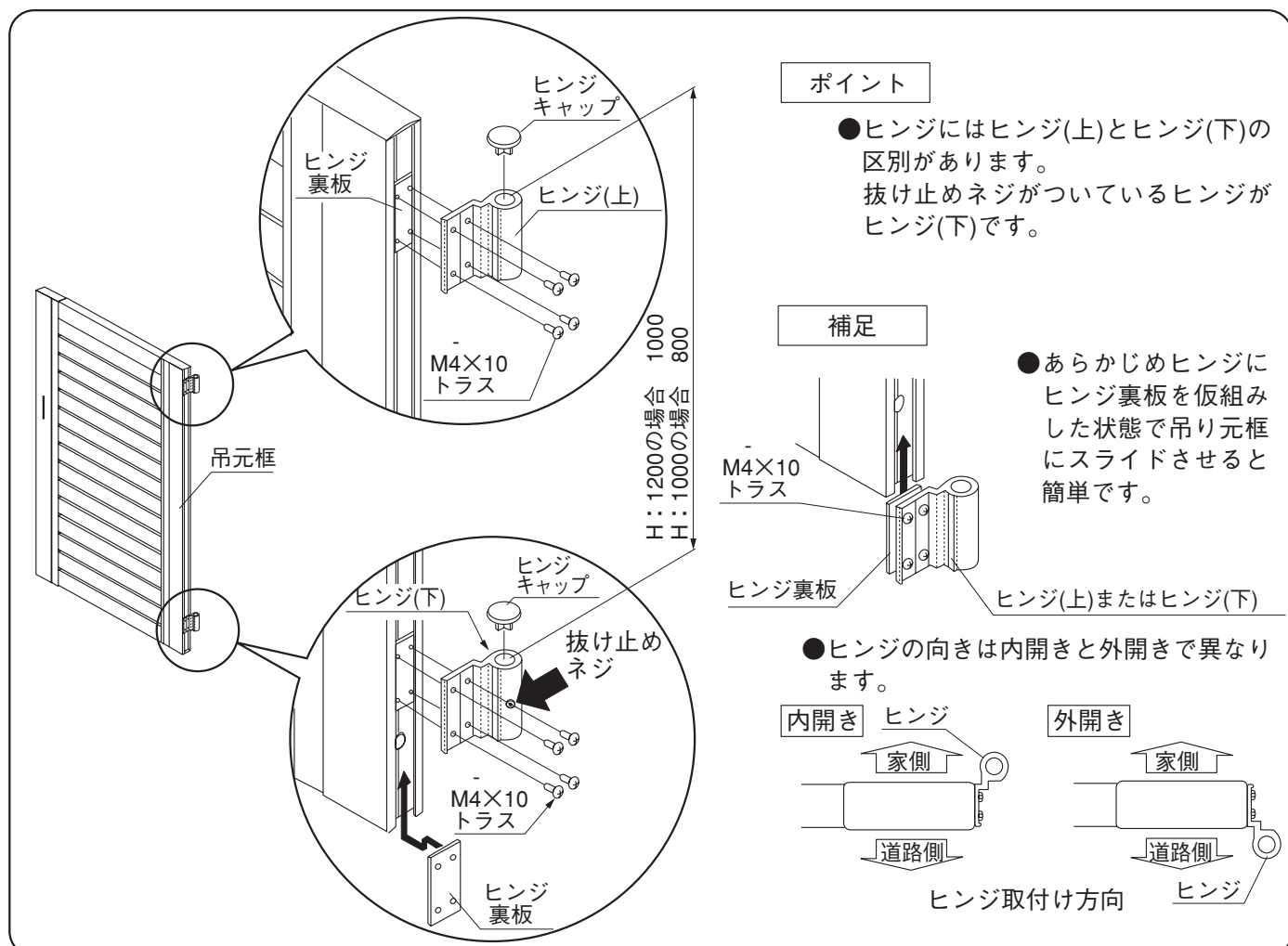
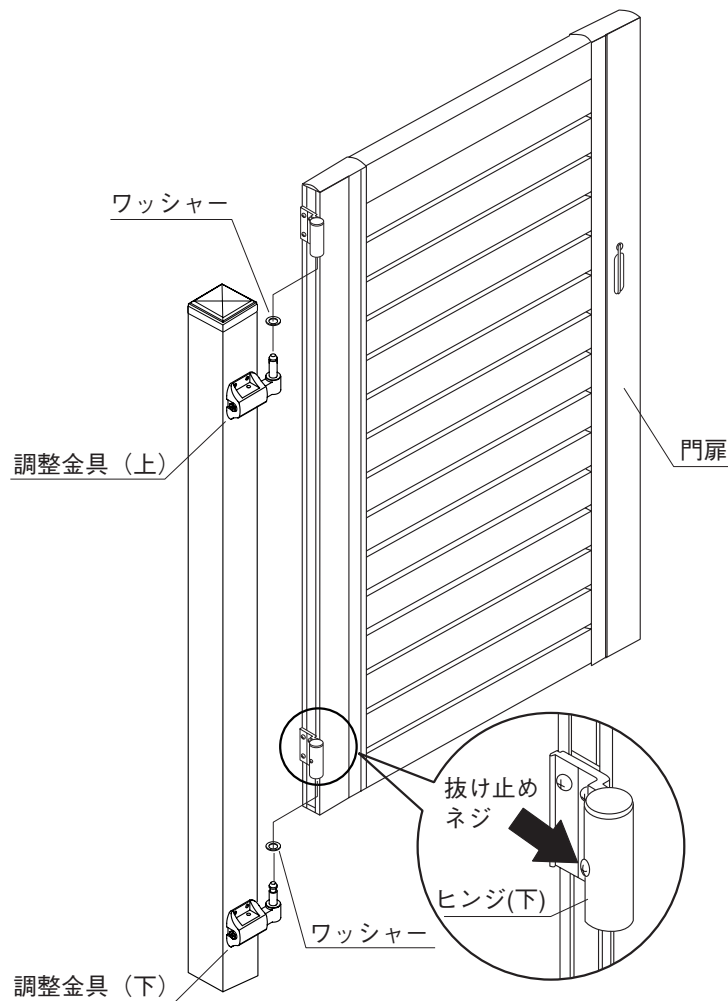
内開き　ヒンジ　家側　道路側

外開き　家側　道路側　ヒンジ

ヒンジ取付け方向

ヒンジキャップ　ヒンジ裏板　ヒンジ(上)　M4×10トラス　吊元框　H：1200の場合 1000　H：1000の場合 800　ヒンジ(下)　ヒンジキャップ　抜け止めネジ　M4×10トラス　ヒンジ裏板　ヒンジ(上)またはヒンジ(下)

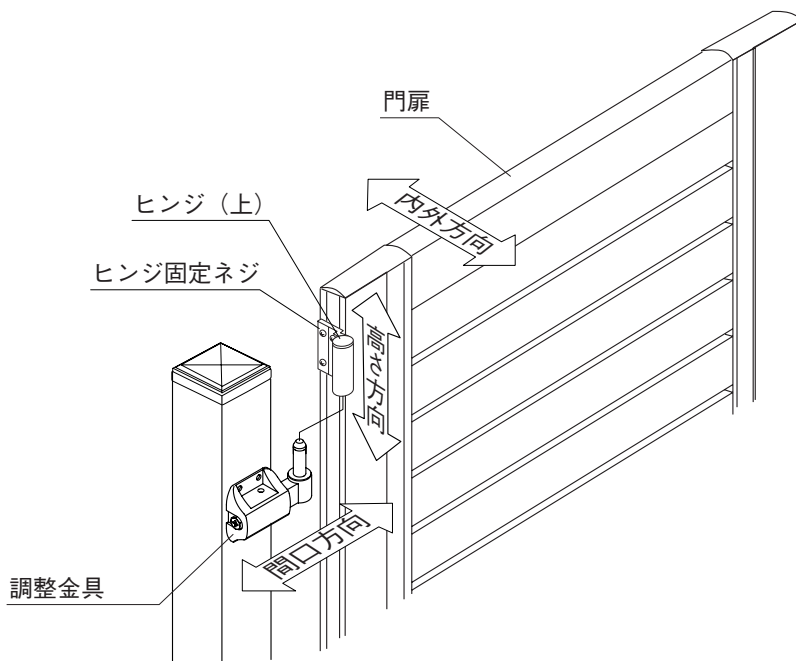
A344_200209A

6. 門扉の吊り込み

ワッシャー
調整金具（上）
門扉
抜け止め
ネジ
ヒンジ(下)
ワッシャー
調整金具（下）

ヒンジ（下）の抜け止めネジをゆるめてください。

ワッシャーを調整金具シャフトに取付けてください。

調整金具シャフトにヒンジ（上）、ヒンジ（下）を差込み門扉を吊り込んでください。

ヒンジ（下）の抜け止めネジをしめこんでください。

7. 門扉の調整

高さ方向の調整方法

ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整します。

ポイント

●門扉とG.Lのすきまは90mmが標準です。

間口方向および内外方向の調整方法

調整金具で調整します。

A344_200209A

調整金具の調整方法

固定ボルトをゆるめてください。

ポイント

●固定ボルトをしめたまま
間口寸法の調整を行うと、
固定ボルトが破損します。

スパナ
ゆるめる
固定ボルト

調整ボルトをまわし、間口寸法
を決めてください。

ポイント

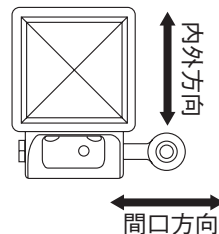
●両開きの場合、合掌框と合
掌框のチリ寸法は5±1mmに
調整してください。

●片開きの場合、合掌框と受
け門柱のチリ寸法も5±1mm
調整してください。

間口方向
調整ボルト

内外方向

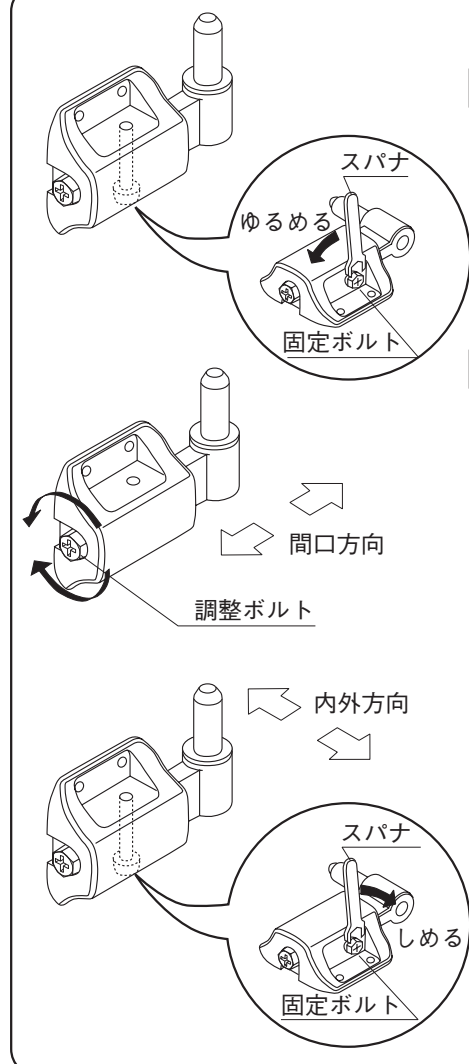
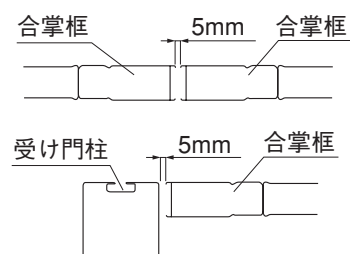
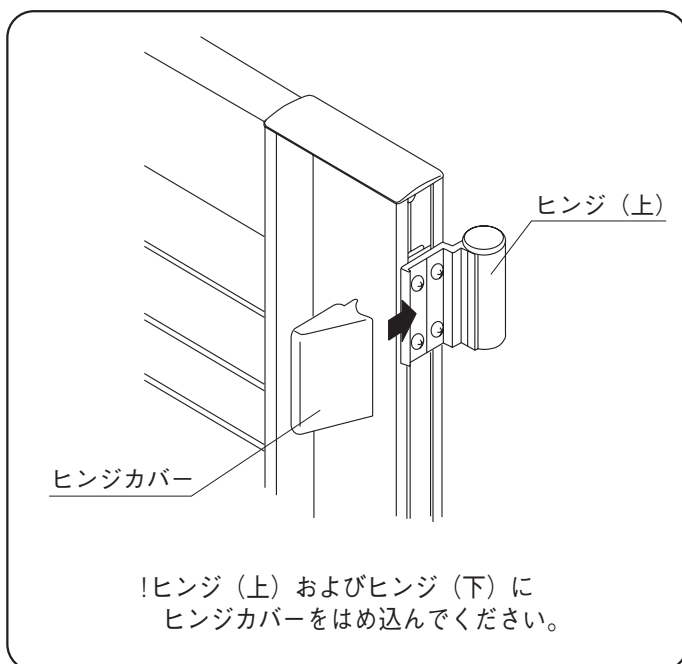
内外寸法が決まりましたら、
必ず固定ボルトをスパナで
しめつけてください。

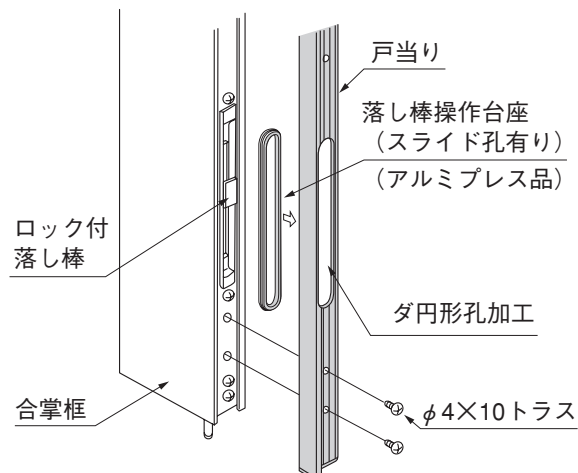
調整範囲

	調整金具H	調整金具O
内外方向	±4.5mm	±8.0mm
間口方向	±8.5mm	±8.5mm

8.ヒンジカバーの取付け

ヒンジ（上）

ヒンジカバー

!ヒンジ（上）およびヒンジ（下）に
ヒンジカバーをはめ込んでください。

9.戸当りの取付け

戸当り本体には、掛受・左右の区別はありません
ので、向きを合わせて取付けて下さい。

戸当りに、落し棒操作台座を取付けてから戸当り取
付ビス(φ4×10⊕トラス)で合掌框に取付けて下さい。

A344_200209A

ここから先は、電気工事店様が行って下さい。

10. 電気錠システム取付および接続方法

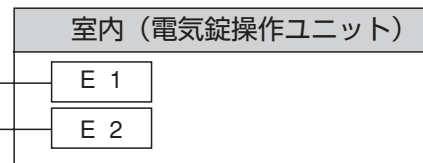
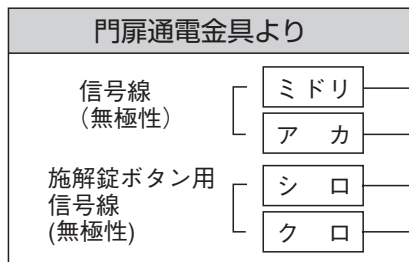
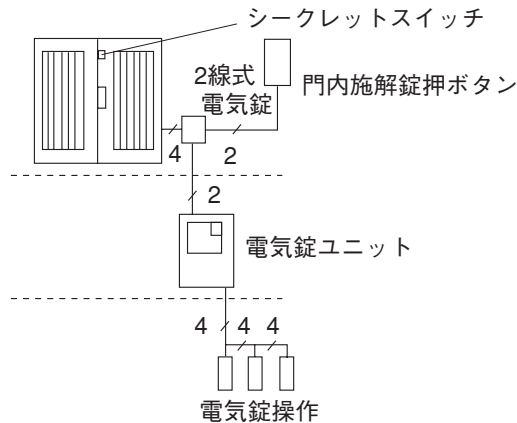
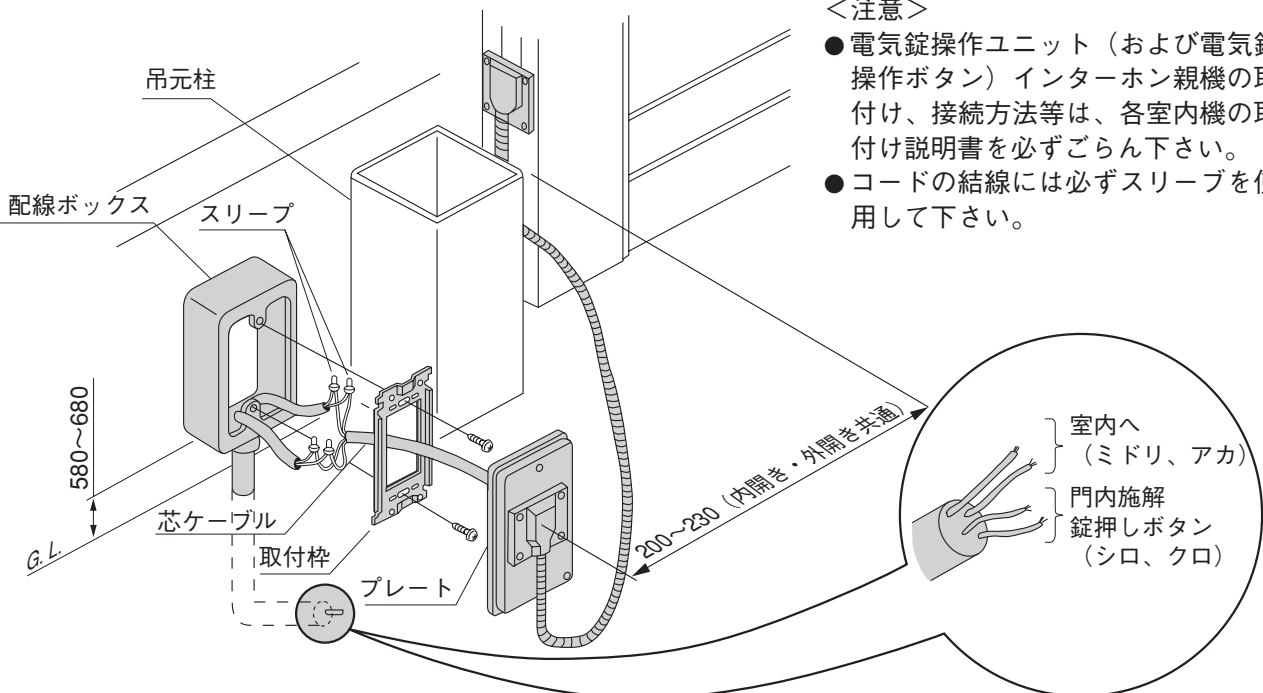
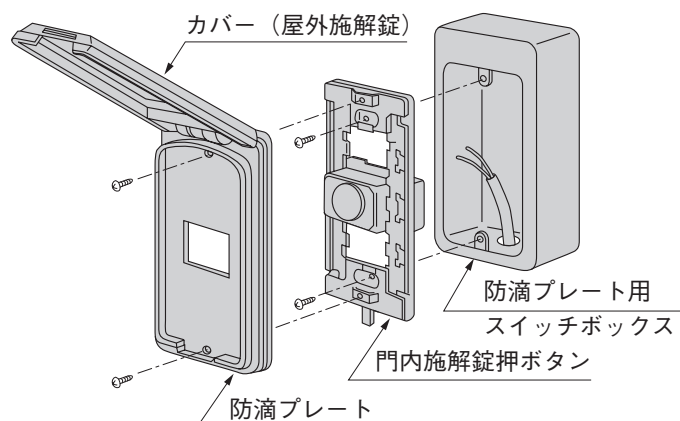
6-1 システム図

門扉に電気錠・シークレットスイッチを組み込んだタイプ

6-2 接続方法

門扉通電金具より			室内（電気錠操作ユニット）
信号線（無極性）	ミドリ	→	E 1
	アカ	→	E 2
施解錠ボタン用信号線(無極性)	シロ	→	門内施解錠押しボタン
	クロ	→	門内施解錠押しボタン

吊元柱
配線ボックス
スリーブ
580～680
G. L.
芯ケーブル
取付枠
プレート
200～230（内開き・外開き共通）
室内へ（ミドリ、アカ）
門内施解錠押しボタン（シロ、クロ）

<注意>

- 電気錠操作ユニット（および電気錠操作ボタン）インターホン親機の取付け、接続方法等は、各室内機の取付け説明書を必ずごらん下さい。
- コードの結線には必ずスリーブを使用して下さい。

11.屋外施解錠スイッチの取付方法

＜注意＞
●取付位置はG.L.より約1400mmにして下さい。
取付位置は門の内側の操作しやすい場所に必ず取付けて下さい。

配線距離

配線間 ＼ 使用配線	0.5mm² または0.8mm	0.75mm² または1mm
操作ユニット～シークレットスイッチ	50m	50m
シークレットスイッチ～門内側施解錠ボタン	50m	50m

施行上のご注意

● 落雷時の器具破損や、誤動作を防止するために、家屋から通電金具までの配線は架空配線をしないで地中配線をして下さい。

● 門内施解押ボタンおよび家具から通電金具（4芯）までの配線および、増設する施解錠スイッチへの配線は100Vおよび200Vの配線と、接近して平行または交差させないで下さい。（平行させる場合には、50cm以上離して下さい。）また、埋込み配線の部分は100Vおよび200V電源とは別配管にして下さい。

●地中電線路の配管には、従来掘り起こすことがない場所を選んで下さい。

●配管距離が長い場合、また、曲がりが2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けて下さい。

●ハンドホール内で電線の接続は行わないで下さい。

●配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいで下さい。

工事店様へ

●仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取って下さい。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
●みだりに改造、変更は避けて下さい。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

●御使用いただきましてありがとうございました。

200209A_1005